

種別： 男子 **大会名** 平成18年度全国高等学校総合体育大会ソフトボール競技大会
 第41回全日本高等学校男子ソフトボール選手権大会 **試合番号** 12

試合日：平成18年8月5日	第 1 日目	第 3 試合	2 回戦	大阪府寝屋川市	南寝屋川公園市民グラウンド				
開始時間	14時03分	終了時間	16時07分	中断時間	0時03分	試合時間	2時間01分		
(球 審)	田中 武	(一塁塁審)	福江 明久	(二塁塁審)	安部 博文	(三塁塁審)	川崎 忠義	(副 審)	土師 秀知

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	計	安打	失策
相洋高等学校 (神奈川)	0	0	0	0	0	3	0								3	4	3
豊川高等学校 (愛知)	3	2	1	1	1	0	x								8	11	2

チーム名	投	手	捕	手
相洋高等学校 (神奈川)	清水 隼		長谷川 竜太	
豊川高等学校 (愛知)	横田 祐助		斎藤 祐介	

チーム名	本 塁 打	三 塁 打	二 塁 打
相洋高等学校 (神奈川)			山室 達紀
豊川高等学校 (愛知)		鈴木 隆、阿辺山真輔	服部 達也、鈴木 義信

(戦評) 豊川高校、11安打、8得点の猛攻で3回戦進出！！

豊川高校は1回、二番河合、三番鈴木連続ヒットで一死一・二塁とし、四番服部のセンターオーバーの二塁打で2点を先制。なおも1点を追加した。2回には無死一塁の後、犠打で走者二進。一番鈴木センターオーバーの三塁打などで2点を追加し試合を決めた。一方の相洋高校は6回、一死満塁で代打に起用された木村が一塁線を抜ける2点タイムリーなどで3点を返し反撃したが敗退した。2回の佐野・栗田の二遊間コンビによる併殺や、4回、一死満塁からのセンター新家の好返球による補殺などの守備が光った。



公式記録員 水門 裕子
 戦評記載者 松下 英樹